

避難施設関係者連絡会実施報告書

1 実施日時 2023年6月17日(土) 10:00～11:30

2 連絡会の場所(会場) 都立小川高等学校

3 出席者(※敬称略)

(1)学 校 役職 校長 役職 経営企画室長

(2)町田市防災課 2名

(3)指 定 職 員 4名

(4)市 民 組織名 成瀬が丘自治会

組織名 小田急金森泉自治会

組織名 西小川親和会

組織名 小川自治会

組織名 京浜小川自治会

※市民参加者は添付及びその他合計20名(内女性3名)

4 打合せ内容

(1)活動目的、委員紹介、避難者用案内図の検討

(2)避難広場入り口の確認と検討、避難広場に置く自治会の「のぼり」について

(3)備蓄倉庫の位置、収納物の確認。バルーン投光器への加工について

(4)キーボックスの位置及び開錠方法の確認

5 議事録(連絡会の中で出た主な意見や意見交換内容など)

(1)について

- ・今回は委員以外の方についても各自主防災組織から参加いただいている。
- ・避難者用の案内図については、正門側壁の大きさを考慮して、作成を進める。

(2)について

- ・校庭入り口のネットは取り外し等が容易でなく、左右から分かれて入る必要がある。
- ・ネットを切ってしまうのもひとつの手ではある。しかし、ネットが堅強なので、容易ではない。
- ・学校側でネットの修繕工事等がある際に、取り外しや移動ができるものにしてもらうよう検討してもらえればよいのではないかと。

- ・地域の避難者と生徒で動線がぶつからないようにする必要がある。
- ・地域の避難者と生徒では、避難するタイミングが違うから大丈夫ではないかと。

- ・今後の訓練でこの辺も確認していきたい。
- ・校庭内にある左右2か所の門も使用できる。(但し学校側がないと開錠不可)

・避難広場に置く自治会の「のぼり」については、提示されたもので各町内会・自治会了承。今後各町内会・自治会長を通じて整備していく。

(3)について

・町田市の備蓄倉庫内には、地域の方に必要な「はじめに出す」もののボックスがあるので、覚えておいてもらいたい。

・前回訓練時、指定職員より、バルーン投光器が持ちにくいとの声があった。これを受けて、バルーン投光器を支える棒を用意した。→バルーン投光器2台に装着済み。

(4)について

- ・新委員にキーボックスの位置と操作方法等を伝授

⇒次回開設訓練は10月14日(土)を予定している。

⇒学校避難訓練(住民協働参加)については、11月17日(金)を予定している。